

区政を聞く 代表質問 (要旨)

自由民主党議員団

堅実な財政運営と公共施設の効果的な活用・更新を求め...



葛飾区総合庁舎

り方を検討した上で、各組織が連携して、施設活用計画や改築計画...

今後の災害対策における本部体制の強化

危険度管理・減災対策推進委員会において、どのような議論がなされ、地域防災計画の見直しにおいて、どのような役割を担っているのか...

日本共産党葛飾区議会議員団

安倍政権の暴走許さない、安倍政権の暴走許さない、安倍政権の暴走許さない...



東京新聞紙面

責任を持つという意味であり、国会の場において十分に議論がなされるべきものと考へてくる。

来年度予算

国民健康保険料・後期高齢者医療費の削減について...

区政を聞く 一般質問 (要旨)

自由民主党議員団

ふるさと葛飾を支える次世代を担う子どもたちの教育の重要性...



ICT機器を活用した授業

プランを示し、駅前広場や道路等の都市基盤整備を行うことが重要と考へるが、区の見解を伺う。

葛飾区議会公明党

区民が真に求める施策展開のため青木区長のリーダーシップに期待...



子育て応援区(新設の「かみこまつ保育園」)

答サージを所管する各部と新たな組織が連携して、サービス提供と施設活用の両面から複合的な施設機能調整し、具体的な改築や計画的な改修による長寿化を図る。

民主党 葛飾

公共施設の更新と木造密集市街地の改善、水害対策を図る...

問 葛飾区都市計画マスタープランで人口減少の局面について、どのような認識を持っているのか...

問 京成本線荒川橋梁架替工事と堀切地区のまちづくり...

問 葛飾区議会公明党の今後の取組について...

葛飾区議会公明党

支えあう福祉社会に向けた対策と橋梁の長寿命化...

いて、どのような対策を進めるのか。公共施設の改修や修繕を計画的に実施することにより、区内事業者にはこれまで以上に継続的な工事や修繕等の発注が見込まれる。今後受注機会の確保に努めることで、区内事業者がより高いレベルの工事にチャレンジできる仕組みを検討する。

危険度管理・減災対策の推進

地域防災計画の抜本的な見直しでは、区民との協働による減災対策を進めるため、どのような施策を盛り込むのか。

問 子育て支援を担う人材の育成と確保にどう取り組むのかの考えを伺う...

問 今後の公共施設の更新について、区民の具体的な見解を伺う...

学校選択制

問 制度導入後10年経過したが、よりよい仕組みにすべきと思うがどうか...

問 地域防災計画及び人材育成に関する認識を伺う...

問 葛飾区議会公明党の今後の取組について...

問 葛飾区議会公明党の今後の取組について...

問 葛飾区議会公明党の今後の取組について...

問 葛飾区議会公明党の今後の取組について...

ツクスを設置する準備を進める。
※他の質問項目 不法投棄防止 など

花いっぱいまちづくり

問新年度予算における活動団体への支援の具体的な内容を伺う。

答活動用具の貸与制度創設やアドバイザー制度導入などで活動を支援する。
※他の質問項目 スピード感ある取り組み など

他の質問項目名 就学援助費の見直し、小菅・堀切・南綾瀬地域の地区図書館

日本共産党葛飾区議会議員団

住民本位のまちづくり
くらし応援、福祉の充実

災害に強いまちづくり

問高砂南地区、四つ木地区の計画には、全戸訪問して、住民の意見を反映させる仕組みを作るべきかどうか。
答アンケート調査の結果や説明会での意見を計画に反映させたい。
※他の質問項目 地区計画対象地域

耐震改修助成制度

問大幅な助成額の拡充と補助率の引き上げ等をすべきと思うかどうか。
答耐震診断についてはすでに全額を補助している。来年度も改修費用の助成制度を拡充する予定である。
※他の質問項目 新耐震基準の建物の耐震補強工事費助成 など

放射能対策

問東京都に対し、水元公園の定点測定との再開と区の除染基準を上回る地点の除染を要請すべきかどうか。
答区民からの放射線量測定や必要に応じて除染に関する要望を東京都に対し伝えている。

空き家対策

問独自に、賃貸など二次的住宅以外の空き家の実態調査や所有者へのアンケートを実施してはどうか。
答問題発生が危惧される空き家の実態調査の準備を進めている。



管理されていない空き家

※他の質問項目 条例制定 など

高齢者支援

問北区の取り組みを学び65歳以上の高齢者実態調査を行ってはどうか。
答本区もきめ細かな調査を行っており、実施する考えはない。
※他の質問項目 介護保険制度改定の撤回 など

政策 葛飾

大規模災害を常に意識し
実用性・実効性のある対策を

防災・危機管理

問地域防災計画の見直しでは、どのような災害が想定され、各々の災害に対する計画がどう反映されているか。
答放射線物質対策や大規模事故、火山対策を新たに記載した。災害対策本部マニュアル見直しなどを進め、地域防災計画に位置付けた考え方や事業の実現に向けた取り組みを継続する。
※他の質問項目 かつしかFMの防災時の活用 など

四つ木・立石地域の街づくり

問連続立体交差事業の遅れの理由、今後の工程と完成までの期間を伺う。
答立石駅前区間の用地確保の合意形成に時間を要している。工程などについて都及び京成電鉄と協議を進め、平成35年3月の工事完了を目指す。
※他の質問項目 密集事業



高架下の地域活用（青戸高架下集い交流館）

保健所、保健センターのサービス向上策

問サービス向上策の検討の経緯と課題、今後の再編スケジュールを伺う。
答素案報告後、具体化に向けて保健所で検討している。課題は区民ニーズに沿ったサービス向上策と具体的なサービスの提供方法。今後検討を重ねてスケジュールは改めて示す。
※他の質問項目 保健センターの役割 など

葛飾区の放射線対策

問区の放射線対策は継続的に取り組んでもらいたい。考えを伺う。
答空間放射線量の定点測定のほか様々な対策を引き続き実施するとともに子どもたちに関する対策も行う。
※他の質問項目 妊婦などへの啓発

民主党 葛飾

減災対策、不登校対策の取り組みや
保育ママペースの拡充を

地域特性をふまえた今後の減災対策

問地域別地域防災会議の目的と現状の到達点、また、最終年度である来年度の成果見込みについて伺う。
答住民主体で地域ぐるみの防災ネットワークを構築し、地域防災力の向上を図ることが目的である。モデル地区では、避難所運営を中心とした取り組みや情報の共有化、共通課題の抽出などを進めており、来年度は、防災対策や情報収集・発信などの仕組みづくりを目指し取り組んでいく。

※他の質問項目 防災案内看板 など

小・中学校教育における教育委員会の姿勢

問不登校対策に対する視点、来年度以降の方向性について伺う。
答自尊心や自己肯定感を育む教育を推進し、一人ひとりに応じた指導を組織的に行い、不登校児童・生徒の減少、ゼロに向け取り組んでいく。
※他の質問項目 インフルエンザ対策 など

子育てコンシェルジュの導入と保育ママペースの拡充

問待機児童が多い地域では小規模保育を活用する必要がある。保育ママペースの拡充について見解を伺う。



保育ママと子どもたち

答本年4月に区内初の家庭的保育事業所（保育ママペース）を開設する。今後も地域の実情に応じた整備を進めていく。
※他の質問項目 子育てコンシェルジュの導入

無所属（※2）

徹底した情報公開と
悪しき前例の改善を

葛飾区役所総合庁舎建て替え

問建築需要が高まり総事業費の増大が想定される中、現庁舎を使用するまで使うと方針転換すべきではないか。
答方針転換すべきとは考えていない。
※他の質問項目 整備費用の総事業費

本区におけるスポーツ施設等の優先
利用・学校の施設開放

問公平性を担保するためにも、どの団体がどういう目的で使うのか年間スケジュールをホームページで公開して透明化を図るべきではないか。



総合スポーツセンター

答利用団体と調整しながら検討する。
※他の質問項目 学校施設開放の情報公開 など

無所属（※3）

労働者の生活・雇用を守るため
公契約条例の制定を

公契約条例の制定

問賃金条項を取り入れた公契約条例の制定は、幅広い労働者の生活・雇用の安定に効果的と思うかどうか。
答民間労使への関与の問題や区内中小零細企業への影響も大きいため、今後対応を検討する。
※他の質問項目 低賃金対策 など

区営住宅での白骨遺体発見

問生活協力を取り巻く環境の検証と整備が必要と思うかどうか。
答ガイドラインを作成し、報告書についても、より細かく見守ることができるよう改善した。また、協力員だけに負担をかけずに見守りを充実させる方式について検討中である。
※他の質問項目 連携方法等の検証

無所属（※4）

知的障害者が地域で生きるための
支援といじめ防止の取り組み
知的障害者の都外施設の入所状況と
今後のあり方

問施設退所後の支援について伺う。
答地域生活に移行できるよう支援する。
※他の質問項目 施設入所者人数

小・中学校のいじめの現状と取り組み
いじめ防止対策推進法施行後の取り組みを伺う。



区営シルバーピア住宅



授業中の子どもたち

答基本方針の策定準備を進めている。
※他の質問項目 認知・解決状況 など

子育て支援

問新制度の下での展開について伺う。
答事業計画の策定に取り組んでいる。
※他の質問項目 改正による変更点
他の質問項目名 自転車事故防止対策